



## 手探りの1歩

岩本 勝太郎

8月1日クアラルンプール国際空港に到着。ムツとくる湿度と微かな香辛料の香り。  
welcome to Malaysia と歓迎されているような気がした。

前日からの泊まり込みオリエンテーションの緊張が一気にヤル気へと変わった。  
今日からよろしくマレーシア！

思い返せばオンライン授賞式に始まりオンラインオリエンテーション、受賞の実感もあまりなく学校の先生からは一回のエッセイで終わりですか？あなたは今も継続して何かやっていますか？マレーシアに何をしにいきますか？と言われる。

僕が一番わかっているんだ。ただ実感がなくモチベーションが上がらなかった。そんな中でもやるべきことはやってきた。

しかしマレーシアに到着すると、あれ？大都会！街はリッツカールトン、ブルガリ、シャネル、の看板。訪問した高校では全員母国語&英語、日本語も話せる。僕はみんなからゆっくり英語を話してもらおう始末。KPOP好きでInstagramに投稿をする、将来は教師になりたいとか日本と変わらない高校生。僕は日本語しか話せずInstagramもやっていない、進路も考えていない。逆に僕が刺激を受けている。

しかし、都会から車で30分も行くと、牛や犬がウロウロ、ボロボロの家。裕福には見えなかった。みんなが平等に教育を受けることができ、望む仕事につける。

30分の壁は厚そうだ。

今回、国外に出てわかった。僕がやらなければならないこと。マレーシアの現状を日本で話すこと。ラ・サールの仲間ときっといい討論が出来そうだ。